



## 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成19年1月31日

上場会社名 鳥居薬品株式会社

(コード番号: 4551 東証第一部)

(URL <http://www.torii.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 松尾 紀彦

問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 中村 敏則

TEL: (03) 3231-6811

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容) 税金費用については、簡便法により計算しております。

② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

### 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

#### (1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	31,173	△3.6	4,653	△32.7	4,846	△30.2	2,667	△31.9
18年3月期第3四半期	32,324	△2.6	6,918	△6.6	6,942	△30.6	3,918	△29.6
(参考) 18年3月期	40,477	—	7,606	—	7,646	—	4,179	—

	1株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	94.25	—
18年3月期第3四半期	138.44	—
(参考) 18年3月期	146.76	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

#### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の製薬企業を取り巻く事業環境は、昨年4月に実施された薬価の引き下げ(業界平均6.7%)ならびに医療費の抑制を目的とした後発品の使用促進策の影響を受け、より一層の厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社におきましては、領域別製品戦略に基づくプロモーションを一層強化することにより、当社製品の競合品・後発品との差別化を図るなど、主力品である蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」、外用副腎皮質ホルモン剤「アンテベート」、尿酸排泄薬(痛風治療剤)「ユリノーム錠」、更には抗HIV薬「ビリアード錠」「ツルバダ錠」を中心とした既存製品のシェアの維持・拡大に努めております。

また、皮膚疾患領域および透析領域のさらなる販売の充実・強化を図るため、昨年10月からは尋常性乾癬治療剤「ドボネックス軟膏」の販売、ならびに「起立性低血圧を伴う血液透析患者におけるめまい・ふらつき・たちくらみ、倦怠感、脱力感の改善」の効能・効果を持つノルエピネフリン作動性神経機能改善剤「ドプス」の透析領域におけるコ・プロモーション(共同販売促進)を開始いたしました。

他方、研究開発につきましては、当社および日本たばこ産業株式会社と東レ株式会社が共同開発を進めてまいりました血液透析患者における難治性そう痒症を適応症とする新規止痒薬「TRK-820」(東レ株式会社開発番号)は、昨年11月に国内における新薬承認申請を行っております。本剤は東レ株式会社が新薬承認を申請し、新薬承認取得後については、当社が販売を行う予定です。

また、昨年9月、当社および日本たばこ産業株式会社と東レ株式会社は、「TRK-820」について、国内にお

ける肝疾患に伴うそう痒症を適応症とする共同開発及び販売に関する契約を新たに締結しております。

以上の結果、当第3四半期の経営成績につきましては、売上高は31,173百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は4,653百万円（前年同期比32.7%減）、経常利益は4,846百万円（前年同期比30.2%減）、四半期純利益は2,667百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

(2) 財政状態の変動状況 (百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	76,802	67,244	87.6	2,375.65
18年3月期第3四半期	75,860	64,924	85.6	2,293.62
(参考) 18年3月期	76,781	65,240	85.0	2,303.91

【キャッシュ・フローの状況】 (百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,158	△3,180	△737	34,073
18年3月期第3四半期	1,325	1,185	△795	35,817
(参考) 18年3月期	3,425	104	△796	36,833

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、76,802百万円と前事業年度末に比べ20百万円（0.0%）増加しました。流動資産においては、売掛金は増加しましたが、有価証券およびたな卸資産等が減少したことにより483百万円減少しております。固定資産においては、有形固定資産が製造設備等への投資により260百万円、無形固定資産がソフトウェアの取得により131百万円、投資その他の資産が投資有価証券の取得等により111百万円、それぞれ増加しております。

負債の状況につきましては、9,558百万円と前事業年度末に比べ1,983百万円（17.2%）減少しました。これは、流動負債の買掛金および未払法人税等、賞与引当金が減少したことによるものです。

その結果、当第3四半期末の純資産につきましては、67,244百万円と前事業年度末に比べ2,003百万円（3.1%）増加しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、34,073百万円と前事業年度末に比べ2,760百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が4,757百万円となりましたが、売上債権の増加額が1,531百万円、法人税等の支払額が2,792百万円となったこと等により1,158百万円の収入となりました。（前年同期は1,325百万円の収入）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入や設備投資による支出等により3,180百万円の支出となりました。（前年同期は1,185百万円の収入）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いにより737百万円の支出となりました。（前年同期は795百万円の支出）

[参 考] 平成 19 年 3 月期の業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	39,400	5,100	2,700

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 95 円 39 銭

業績予想につきましては、前回発表 (平成 18 年 10 月 31 日「平成 19 年 3 月期中間決算短信 (非連結)」) の予想数値を変更していません。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ・ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ・ 薬価の改定
- ・ 副作用の発現
- ・ 研究開発に関するリスク
- ・ 特定の製品への高い依存度
- ・ 製造の遅延または休止
- ・ 訴訟等のリスク

## 1. (要約) 四半期貸借対照表

区 分	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		前事業年度末 (平成18年3月31日現在)		増 減		前第3四半期末 (平成17年12月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金	7,763		7,232				10,893	
2 キャッシュ・マネージメント ・システム預託金	18,332		19,015				14,439	
3 受取手形	7		7				68	
4 売掛金	16,611		15,080				17,184	
5 有価証券	10,726		11,934				11,034	
6 たな卸資産	3,517		4,007				3,156	
7 その他	1,593		1,758				1,721	
流動資産合計	58,553	76.2	59,036	76.9	△483	△0.8	58,497	77.1
II 固定資産								
1 有形固定資産								
(1) 建物	3,830		3,838				3,507	
(2) 機械及び装置	1,075		857				722	
(3) 土地	1,189		1,189				1,189	
(4) その他	466		416				696	
計	6,561	8.5	6,301	8.2	260	4.1	6,114	8.1
2 無形固定資産	1,110	1.5	978	1.3	131	13.5	813	1.1
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	5,039		4,583				4,489	
(2) その他	5,568		5,912				5,976	
貸倒引当金	△31		△31				△31	
計	10,576	13.8	10,465	13.6	111	1.1	10,434	13.7
固定資産合計	18,249	23.8	17,745	23.1	503	2.8	17,362	22.9
資産合計	76,802	100.0	76,781	100.0	20	0.0	75,860	100.0

区 分	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		前事業年度末 (平成18年3月31日現在)		増 減		前第3四半期末 (平成17年12月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(負債の部)								
I 流動負債								
1 買掛金	4,562		5,406				5,436	
2 未払法人税等	907		1,592				1,279	
3 賞与引当金	564		1,067				541	
4 役員賞与引当金	15		—				—	
5 返品調整引当金	4		5				5	
6 その他	2,424		2,304				2,523	
流動負債合計	8,478	11.0	10,376	13.5	△1,898	△18.3	9,787	12.9
II 固定負債								
1 退職給付引当金	665		688				679	
2 役員退職慰労引当金	74		136				128	
3 預り敷金保証金	339		339				339	
固定負債合計	1,079	1.4	1,164	1.5	△85	△7.3	1,147	1.5
負債合計	9,558	12.4	11,541	15.0	△1,983	△17.2	10,935	14.4
(資本の部)								
I 資本金	—	—	5,190	6.8	—	—	5,190	6.8
II 資本剰余金								
資本準備金	—	—	6,416		—	—	6,416	
資本剰余金合計	—	—	6,416	8.3	—	—	6,416	8.5
III 利益剰余金								
1 利益準備金	—	—	1,297		—	—	1,297	
2 任意積立金								
別途積立金	—	—	48,480		—	—	48,480	
3 四半期(当期)未処分利益	—	—	4,262		—	—	4,002	
利益剰余金合計	—	—	54,040	70.4	—	—	53,779	70.9
IV その他有価証券評価差額金	—	—	443	0.6	—	—	387	0.5
V 自己株式	—	—	△849	△1.1	—	—	△848	△1.1
資本合計	—	—	65,240	85.0	—	—	64,924	85.6
負債資本合計	—	—	76,781	100.0	—	—	75,860	100.0
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金	5,190	6.8	—	—	—	—	—	—
2 資本剰余金								
資本準備金	6,416		—	—	—	—	—	—
資本剰余金合計	6,416	8.4	—	—	—	—	—	—
3 利益剰余金								
(1) 利益準備金	1,297		—	—	—	—	—	—
(2) その他利益剰余金								
別途積立金	51,980		—	—	—	—	—	—
繰越利益剰余金	2,669		—	—	—	—	—	—
利益剰余金合計	55,947	72.8	—	—	—	—	—	—
4 自己株式	△850	△1.1	—	—	—	—	—	—
株主資本合計	66,702	86.9	—	—	—	—	—	—
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	542		—	—	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	542	0.7	—	—	—	—	—	—
純資産合計	67,244	87.6	—	—	—	—	—	—
負債純資産合計	76,802	100.0	—	—	—	—	—	—

2. (要約) 四半期損益計算書

区 分	当第3 四半期 〔自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日〕		前第3 四半期 〔自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日〕		増 減		前事業年度 〔自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 売上高								
1 製商品売上高	30,953		32,125				40,206	
2 不動産賃貸収入	220		199				271	
計	31,173	100.0	32,324	100.0	△1,151	△3.6	40,477	100.0
II 売上原価								
1 製商品売上原価	11,944		11,762				14,836	
2 不動産賃貸原価	56		51				64	
計	12,001	38.5	11,813	36.5	187	1.6	14,900	36.8
売上総利益	19,172	61.5	20,510	63.5	△1,338	△6.5	25,576	63.2
返品調整引当金戻入額	5	0.0	7	0.0	△2	△29.2	7	0.0
返品調整引当金繰入額	4	0.0	5	0.0	△1	△18.2	5	0.0
差引売上総利益	19,172	61.5	20,512	63.5	△1,339	△6.5	25,579	63.2
III 販売費及び一般管理費	14,519	46.6	13,593	42.1	925	6.8	17,972	44.4
営業利益	4,653	14.9	6,918	21.4	△2,265	△32.7	7,606	18.8
IV 営業外収益								
1 受取利息	50		11				16	
2 有価証券利息	48		25				36	
3 受取配当金	110		17				19	
4 その他	38		58				65	
計	248	0.8	113	0.4	134	119.1	137	0.3
V 営業外費用								
1 たな卸資産廃棄損失	37		76				82	
2 その他	16		12				15	
計	54	0.2	89	0.3	△35	△39.6	98	0.2
経常利益	4,846	15.5	6,942	21.5	△2,095	△30.2	7,646	18.9
VI 特別利益								
1 貸倒引当金戻入益	—		16				16	
2 その他	0		0				0	
計	0	0.0	16	0.0	△15	△95.2	16	0.0
VII 特別損失								
1 転身援助特別加算金	—		—				88	
2 環境安全対策費	55		—				—	
3 その他	34		24				35	
計	89	0.2	24	0.1	65	265.7	124	0.3
税引前四半期(当期)純利益	4,757	15.3	6,934	21.4	△2,176	△31.4	7,537	18.6
法人税、住民税及び事業税	2,089	6.7	3,015	9.3	△925	△30.7	3,304	8.2
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—	53	0.1
四半期(当期)純利益	2,667	8.6	3,918	12.1	△1,250	△31.9	4,179	10.3

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

区 分	当第3 四半期 〔自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日〕	前第3 四半期 〔自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日〕	前事業年度 〔自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日〕
	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前四半期(当期)純利益	4,757	6,934	7,537
2 減価償却費	720	627	856
3 長期前払費用償却費	94	119	150
4 受取利息、有価証券利息及び受取配当金	△209	△54	△72
5 売上債権の増減額(増加:△)	△1,531	△1,727	438
6 たな卸資産の増減額(増加:△)	489	△261	△1,112
7 仕入債務の増減額(減少:△)	△844	516	486
8 長期未収入金の増減額(増加:△)	525	525	525
9 未払金の増減額(減少:△)	34	△1,249	△1,395
10 その他	△295	△979	△875
小計	3,741	4,451	6,538
11 利息及び配当金の受取額	209	50	65
12 法人税等の支払額	△2,792	△3,176	△3,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,158	1,325	3,425
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	△2,000	—	—
2 有価証券の取得による支出	△398	△500	△999
3 有価証券の売却及び償還による収入	1,299	3,700	3,700
4 有形固定資産の取得による支出	△971	△590	△830
5 有形固定資産の売却による収入	—	0	0
6 無形固定資産の取得による支出	△531	△174	△214
7 投資有価証券の取得による支出	△1,588	△1,301	△2,103
8 投資有価証券の売却及び償還による収入	1,002	1,051	1,552
9 長期性預金の預入による支出	—	△1,500	△1,500
10 長期性預金の払戻による収入	—	500	500
11 その他	6	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,180	1,185	104
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	△1	△2	△3
2 配当金の支払額	△735	△792	△792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△737	△795	△796
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△2,760	1,716	2,733
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,833	34,100	34,100
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	34,073	35,817	36,833



## 2007年3月期 第3四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況		
1. 経営成績	.....	P.1	1. 四半期貸借対照表	.....	P.5,6
2. 財政状態	.....	P.1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	.....	P.7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	.....	P.8
1. 四半期損益計算書	.....	P.2			
2. 製商品売上高	.....	P.3			
3. 売上原価	.....	P.4			
4. 減価償却費	.....	P.4			
5. 研究開発費	.....	P.4	【予想数値に関する注意事項】	.....	P.8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

2007年1月31日



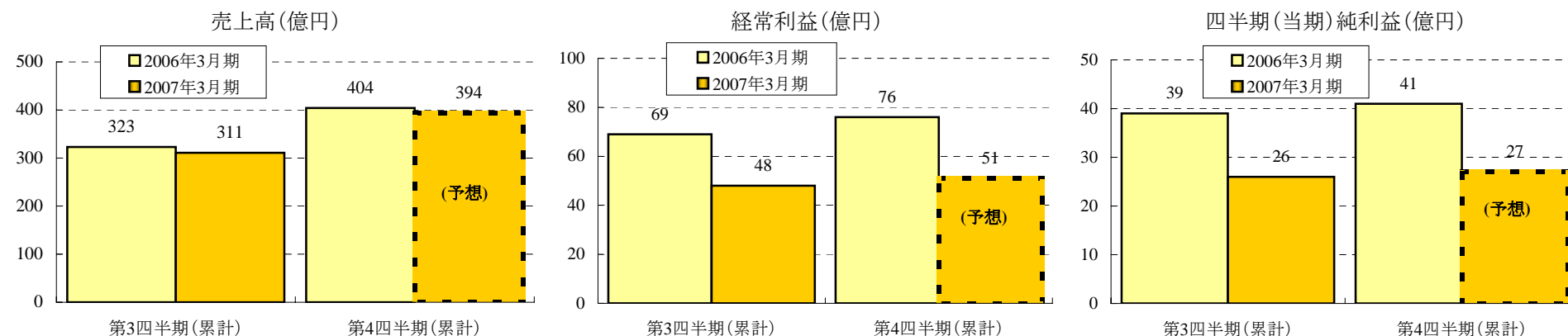
# I. 主な経営指標等の推移

## 1. 経営成績

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2006年3月期				2007年3月期			2007年3月期予想	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前年同期増減(率:%)		対前期増減(率:%)	
売上高	10,478	20,607	32,324	40,477	31,173	△ 1,151	(△ 3.6)	39,400	△ 1,077 (△ 2.7)
営業利益	2,200	4,144	6,918	7,606	4,653	△ 2,265	(△ 32.7)	5,000	△ 2,606 (△ 34.3)
経常利益	2,222	4,141	6,942	7,646	4,846	△ 2,095	(△ 30.2)	5,100	△ 2,546 (△ 33.3)
四半期(当期)純利益	1,227	2,359	3,918	4,179	2,667	△ 1,250	(△ 31.9)	2,700	△ 1,479 (△ 35.4)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	43.37	83.34	138.44	146.76	94.25	△ 44.19	(△ 31.9)	95.39	△ 51.37 (△ 35.0)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	2.0	3.8	6.2	6.6	4.0	△ 2.2		—	—
総資産経常利益率 (%)	3.0	5.6	9.3	10.1	6.3	△ 3.0		—	—
売上高経常利益率 (%)	21.2	20.1	21.5	18.9	15.5	△ 6.0		—	—



## 2. 財政状態

(単位:百万円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前期末増減(率:%)	
総資産	72,605	74,992	75,860	76,781	76,802	20	(0.0)
純資産	62,487	63,711	64,924	65,240	67,244	2,003	(3.1)
自己資本比率 (%)	86.1	85.0	85.6	85.0	87.6	2.6	
1株当たり純資産 (円)	2,207.45	2,250.71	2,293.62	2,303.91	2,375.65	71.74	(3.1)

## Ⅱ. 損益の状況

### 1. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

	2006年3月期	2007年3月期		2006年 3月期	対前年同期増減要因
	第3四半期	第3四半期	対前年同期増減(率:%)		
売上高	32,324	<b>31,173</b>	△ 1,151 (△ 3.6)	40,477	【製商品売上高】 《減少要因》・薬価改定
製商品売上高	32,125	<b>30,953</b>	△ 1,171	40,206	【主力販売品】 ・注射用フサン、強力ネオミノファーゲンシーは減少 ・アンテベート、抗HIV薬(ピリアード錠、ソルバダ錠等)は伸長
不動産賃貸収入	199	<b>220</b>	20	271	
売上原価	11,813	<b>12,001</b>	187 (1.6)	14,900	【売上原価】 《増加要因》・自社品比率の低下等
製商品売上原価	11,762	<b>11,944</b>	181	14,836	
不動産賃貸原価	51	<b>56</b>	5	64	
売上総利益	20,510	<b>19,172</b>	△ 1,338 (△ 6.5)	25,576	
返品調整引当金戻入額	7	<b>5</b>	△ 2	7	
返品調整引当金繰入額	5	<b>4</b>	△ 1	5	
差引売上総利益	20,512	<b>19,172</b>	△ 1,339 (△ 6.5)	25,579	【販売費及び一般管理費】 《増加要因》・研究開発費の増加
販売費及び一般管理費	13,593	<b>14,519</b>	925 (6.8)	17,972	
営業利益	6,918	<b>4,653</b>	△ 2,265 (△ 32.7)	7,606	
営業外収益	113	<b>248</b>	134 (119.1)	137	【営業外収益】 《増加要因》・受取配当金の増加
営業外費用	89	<b>54</b>	△ 35 (△ 39.6)	98	
経常利益	6,942	<b>4,846</b>	△ 2,095 (△ 30.2)	7,646	
特別利益	16	<b>0</b>	△ 15 (△ 95.2)	16	【特別損失】 《増加要因》・環境安全対策費の計上
特別損失	24	<b>89</b>	65 (265.7)	124	
税引前四半期(当期)純利益	6,934	<b>4,757</b>	△ 2,176 (△ 31.4)	7,537	
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	3,015	<b>2,089</b>	△ 925 (△ 30.7)	3,358	
四半期(当期)純利益	3,918	<b>2,667</b>	△ 1,250 (△ 31.9)	4,179	

## 2. 製商品売上高

(単位:百万円)

(単位:百万円)

品名	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期		2006年 3月期	2007年3月期予想	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)		対前期増減(率:%)	
注射用フサン	蛋白分解酵素阻害剤 10,649	9,181	△ 1,468 (△ 13.8)	13,080	11,430	△ 1,650 (△ 12.6)
強力ネオミノファーゲンシー	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬 4,762	4,067	△ 695 (△ 14.6)	5,934	5,150	△ 784 (△ 13.2)
アンテベート	外用副腎皮質 ホルモン剤 3,478	3,784	305 (8.8)	4,446	4,970	523 (11.8)
ユリノーム錠	尿酸排泄薬 (痛風治療剤) 2,933	2,862	△ 71 (△ 2.4)	3,681	3,680	△ 1 (△ 0.0)
抗HIV薬 (注)	抗ウイルス化学療法剤 1,156	1,930	773 (66.9)	1,560	2,480	919 (58.9)
ウブレチド錠	重症筋無力症 ・排尿障害治療剤 1,695	1,629	△ 65 (△ 3.9)	2,137	2,100	△ 37 (△ 1.7)
グリチロン錠	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬 1,146	1,106	△ 39 (△ 3.5)	1,443	1,360	△ 83 (△ 5.8)
ロコイド	外用副腎皮質 ホルモン剤 850	878	27 (3.3)	1,082	1,140	57 (5.3)
セロトーン	制吐剤 871	863	△ 7 (△ 0.9)	1,097	1,170	72 (6.6)
その他	4,581	4,650	69 (1.5)	5,742	5,520	△ 222 (△ 3.9)
計	32,125	30,953	△ 1,171 (△ 3.6)	40,206	39,000	△ 1,206 (△ 3.0)

(注) ビラセプト錠、ビリアード錠、エムトリバカプセル、ツルバダ錠の4剤合計であります。

【参考】 自社品売上高	20,831	19,483	△ 1,348 (△ 6.5)	26,023	24,700	△ 1,323 (△ 5.1)
自社品比率(%)	64.8	62.9	△ 1.9	64.7	63.3	△ 1.4

### 3. 売上原価

(単位:百万円)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
売上高	32,324	<b>31,173</b>	△ 1,151 (△ 3.6)
売上原価	11,813	<b>12,001</b>	187 (1.6)
売上原価率(%)	36.5	<b>38.5</b>	2.0

(単位:百万円)

2006年 3月期	2007年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	
40,477	<b>39,400</b>	△ 1,077 (△ 2.7)
14,900	<b>15,100</b>	199 (1.3)
36.8	<b>38.3</b>	1.5

### 4. 減価償却費

(単位:百万円)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
不動産賃貸原価	27	<b>26</b>	△ 1 (△ 5.8)
販売費及び一般管理費	323	<b>318</b>	△ 4 (△ 1.4)
製造原価	276	<b>375</b>	99 (35.8)
計	627	<b>720</b>	92 (14.8)

(単位:百万円)

2006年 3月期	2007年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	
34	<b>34</b>	0 (0.0)
440	<b>479</b>	38 (8.8)
381	<b>535</b>	153 (40.3)
856	<b>1,049</b>	192 (22.5)

### 5. 研究開発費

(単位:百万円)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
研究開発費	645	<b>1,608</b>	963 (149.3)

(単位:百万円)

2006年 3月期	2007年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	
911	<b>1,789</b>	877 (96.4)

(注) 当社は、親会社であるJTとの研究開発に係る機能分担において、主として既存品の剤形改良や追加効能等の機能を担うとともに、当社の得意とする領域の開発に参画しております。

### Ⅲ. 財政の状況

#### 1. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	2006年 3月期	2007年3月期 第3四半期		2006年 3月期 第3四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率:%)		
(資産の部)					
流動資産	59,036	<b>58,553</b>	△ 483 (△ 0.8)	58,497	
現金及び預金	7,232	<b>7,763</b>	530	10,893	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	19,015	<b>18,332</b>	△ 682	14,439	
受取手形	7	<b>7</b>	0	68	
売掛金	15,080	<b>16,611</b>	1,531	17,184	【有価証券】 《減少要因》・金融商品の償還
有価証券	11,934	<b>10,726</b>	△ 1,208	11,034	【たな卸資産】 《減少要因》・商品在庫の減少
たな卸資産	4,007	<b>3,517</b>	△ 489	3,156	
その他	1,758	<b>1,593</b>	△ 164	1,721	
固定資産	17,745	<b>18,249</b>	503 (2.8)	17,362	
有形固定資産	6,301	<b>6,561</b>	260 (4.1)	6,114	
建物	3,838	<b>3,830</b>	△ 8	3,507	【機械及び装置】 《増加要因》・製造設備等の取得
機械及び装置	857	<b>1,075</b>	218	722	
土地	1,189	<b>1,189</b>	—	1,189	
その他	416	<b>466</b>	49	696	【無形固定資産】 《増加要因》・ソフトウェアの取得
無形固定資産	978	<b>1,110</b>	131 (13.5)	813	【投資その他の資産】 《増加要因》・金融商品の取得等
投資その他の資産	10,465	<b>10,576</b>	111 (1.1)	10,434	
資産合計	76,781	<b>76,802</b>	20 (0.0)	75,860	

(注) キャッシュ・マネージメント・システムとは、JTグループにおける国内グループ会社を対象とした資金の一元管理を目的とするシステムです。

(単位:百万円)

	2006年 3月期	2007年3月期 第3四半期		2006年 3月期 第3四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率:%)		
<b>(負債の部)</b>					
流動負債	10,376	<b>8,478</b>	△ 1,898 (△ 18.3)	9,787	
買掛金	5,406	<b>4,562</b>	△ 844	5,436	【買掛金】 《減少要因》・商品仕入時期の差異
未払法人税等	1,592	<b>907</b>	△ 685	1,279	
賞与引当金	1,067	<b>564</b>	△ 503	541	【賞与引当金】 《減少要因》・年末賞与支給による取り崩し
返品調整引当金	5	<b>4</b>	△ 0	5	
その他	2,304	<b>2,439</b>	135	2,523	
固定負債	1,164	<b>1,079</b>	△ 85 (△ 7.3)	1,147	
退職給付引当金	688	<b>665</b>	△ 22	679	
役員退職慰労引当金	136	<b>74</b>	△ 62	128	
預り敷金保証金	339	<b>339</b>	—	339	
負債合計	11,541	<b>9,558</b>	△ 1,983 (△ 17.2)	10,935	
<b>(純資産の部)</b>					
株主資本	64,796	<b>66,702</b>	1,905 (2.9)	64,537	
資本金	5,190	<b>5,190</b>	— (—)	5,190	
資本剰余金	6,416	<b>6,416</b>	— (—)	6,416	
資本準備金	6,416	<b>6,416</b>	—	6,416	
利益剰余金	54,040	<b>55,947</b>	1,906 (3.5)	53,779	
利益準備金	1,297	<b>1,297</b>	—	1,297	
その他利益剰余金					
別途積立金	48,480	<b>51,980</b>	3,500	48,480	
繰越利益剰余金	4,262	<b>2,669</b>	△ 1,593	4,002	
自己株式	△ 849	<b>△ 850</b>	△ 1 (0.2)	△ 848	
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	443	<b>542</b>	98 (22.2)	387	
純資産合計	65,240	<b>67,244</b>	2,003 (3.1)	64,924	
負債・純資産合計	76,781	<b>76,802</b>	20 (0.0)	75,860	

## 2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2006年	2007年3月期		2006年	対前年同期増減要因
	3月期 第3四半期	第3四半期	対前年同期増減		
税引前四半期(当期)純利益	6,934	4,757	△ 2,176	7,537	【税引前四半期(当期)純利益】 《減少要因》・売上高の減少、販管費の増加
減価償却費	627	720	92	856	
長期前払費用償却費	119	94	△ 25	150	
受取利息、有価証券利息 及び受取配当金	△ 54	△ 209	△ 155	△ 72	
売上債権の増減額(増加:△)	△ 1,727	△ 1,531	195	438	
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 261	489	751	△ 1,112	【仕入債務の増減額】 《減少要因》・買掛金の減少
仕入債務の増減額(減少:△)	516	△ 844	△ 1,360	486	
利息及び配当金の受取額	50	209	159	65	
法人税等の支払額	△ 3,176	△ 2,792	383	△ 3,178	【その他】 《増加要因》・前期販売権取得対価等の支払い
その他	△ 1,703	263	△ 1,967	△ 1,745	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,325	1,158	△ 167	3,425	
定期預金の預入による支出	—	△ 2,000	△ 2,000	—	
有価証券の取得による支出	△ 500	△ 398	101	△ 999	
有価証券の売却及び償還による収入	3,700	1,299	△ 2,400	3,700	
有形固定資産の取得による支出	△ 590	△ 971	△ 380	△ 830	
有形固定資産の売却による収入	0	—	△ 0	0	
無形固定資産の取得による支出	△ 174	△ 531	△ 356	△ 214	
投資有価証券の取得による支出	△ 1,301	△ 1,588	△ 286	△ 2,103	
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,051	1,002	△ 49	1,552	
長期性預金の預入による支出	△ 1,500	—	1,500	△ 1,500	
長期性預金の払戻による収入	500	—	△ 500	500	
その他	1	6	5	△ 0	
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,185	△ 3,180	△ 4,366	104	
自己株式の取得による支出	△ 2	△ 1	1	△ 3	【配当金の支払額】 《増加要因》・前期特別配当金の支払い
配当金の支払額	△ 792	△ 735	56	△ 792	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 795	△ 737	57	△ 796	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—	
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,716	△ 2,760	△ 4,476	2,733	
現金及び現金同等物の期首残高	34,100	36,833	2,733	34,100	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	35,817	34,073	△ 1,743	36,833	

## IV. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	2006年 3月期 第3四半期	2007年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
有形固定資産	708	782	73 (10.4)
無形固定資産	162	363	200 (123.1)
計	871	1,145	274 (31.5)

(単位:百万円)

2006年 3月期	2007年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
1,064	1,071	6 (0.6)
396	467	70 (17.7)
1,461	1,538	76 (5.3)

(注1) 当社は、製品の品質向上と原価の低減及び業務の効率化を目的として設備投資を行っております。

(注2) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主として佐倉工場の製造設備への投資であります。また、無形固定資産の設備投資は、ソフトウェア等への投資であります。

## 【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下の様な事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 特定の製品への高い依存度
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク